

中心市街地への市庁舎移転に伴う効果について

1 定量的効果

(1) 中心市街地におけるにぎわい効果

◆庁舎の移転により、中心市街地では年間におよそ56万8千人の来街者が増加すると見込まれます。

(2) 中心市街地における消費効果

◆庁舎の移転により、中心市街地では年間におよそ6億円の消費支出が増える見込まれます。

(3) 庁舎整備事業の実施に伴う経済波及効果

◆庁舎整備事業の建設投資に伴う経済波及効果は、およそ145億円と見込まれます。

2 定性的効果

- ◆市街地再開発事業が促進されるとともに、民間の商業・業務系機能の集積が進むなど、中心市街地の付加価値の向上が期待されます。
- ◆長岡駅からバスなどを乗り継ぐ必要がなくなり、アクセス性が飛躍的に向上します。
- ◆公共交通の利用を促進し、地球環境への負荷軽減に寄与します。
- ◆高齢化の進展に伴い交通弱者の増加が見込まれるなか、重要度を増す公共交通の維持・活性化に寄与します。
- ◆物理的に分断されていた部署の再配置を通じて庁内の連携が強化され、より効率的に業務を遂行することができます。

※市庁舎の位置が厚生会館地区へ移ることによる効果に焦点を絞ったものです。